

	ご意見	ご意見に対する神戸市の考え方
1	駅の近くなら(現在の所でいいのでは)	狭い、本が少ないといった現在の西図書館への不満を解決するため、現在の場所での拡張も検討しましたが、構造上困難なことがわかり、西神中央駅付近で場所を探した結果、美賀多台の場所となりました。
2	西区は新しく引っ越してきた人が多い区のように。その中でも年齢層の高い人たちと、その逆に子育て中の若い層も多いようです。この二つの層の要求を満たすのは難しいことと思いますが、図書館が本来果たすべき機能を最優先に考えれば、観光や市政の案内、利用者の集会の利便性などは省いた方がいいと思います。	「(仮称)新西図書館基本計画案」では、観光情報ではなく、西区に関する行政資料の収集・提供を行うことを、基本方針の中に示しています。 集う機能については、アンケート結果や検討会でのご意見などから、地域の方々から必要とされていると判断しました。

独自の発想を展開する前に情報を収集することも大切なプロセスだと思います。全国で評判の良い同規模の図書館についてどのような点が住民に受け入れられているのか調べられたのでしょうか？理想郷ではなく現実に沿ったもので既存の方法がほかの地域で受け入れられているのなら良いものかもしれません。

今後長く広く利用してもらうことためには図書館を作ってきた設計に関わってきた専門家の知識と経験も必要かと思います。委員会というのでしょうか？メンバーにはそのような設計についての知識を持たれている方はいらっしゃるのでしょうか？このような箱を作りたいといっても砂上の楼閣であっては問題外でしょう。まとめ役は財政を握られている市の職員の方でいいように思います。

3 図書館は図書館です。公民館ではありません。図書館の役割、公民館の役割を両方兼ね備えた施設づくりを目指すのであればそれなりのスペースが必要かと思います。図書館のピリッとした空気を好む方もいらっしゃいます。それぞれの役割を 考えてみると設計に携わる方がいらっしゃる方がいいと思います。光がたくさん入る建物にしたいという意見があれば建設用地で可能なかどうか？ 最初から一緒に考えていくことが大事だと思います。意見は出してまとめたけれど実際にできた上物が全く違っていたというのでは何のための意見募集なのか？わかりませんから。

西神中央に文化的な建物が建設されることを聞いてとてもうれしく思います。多くの人が訪れて活気ある街になっていくことが結果的には子育て世代も移り住み、多世代が暮らせる過ごしやすい街として広く認知されていくのだと思います。人口減少は仕方がないと思わず、対策を考えることが市の役割だと思います。人口減少を食い止めることができれば税収入も増え、市はまたやりたいことができます。今後長い間、たくさんの方が訪れる建物を創る基本計画案に携わることができる機会などあまりないと思います。時間は限られていると思いますが既に出上がった計画書に沿うように意見をすり合わせるようなことがないように神戸らしいハイカラな雰囲気を持った素敵な図書館・文化ホールができることを期待しています

「(仮称)新西図書館基本計画案」の作成にあたっての情報収集としては、複数の先進自治体の図書館を視察し、新しい図書館についてのイメージやヒントを得てまいりました。また他自治体の図書館の基本計画にも多く目を通しています。

「(仮称)新西図書館基本計画案」を作成するにあたって、広く有識者等からの意見を参考にするために開催した整備検討会のメンバーには、他自治体で図書館の基本計画策定に携わられた方や、大学の建築学の先生がおられ、それぞれ、経験と専門性に裏打ちされたご意見をいただいています。

その他頂いたご意見については、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。

4	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍消毒機(明石図書館にある物)を設置してほしい ・書棚の近くにイスを何カ所にも設置してほしい(短時間の利用のみ。高齢者が本の内容をさつと見て借りる本を選ぶ時間、長期間の利用は禁止するなど) ・図書館内は静かな環境を確保してほしい。話ができるスペースは別できっちり分けて欲しい。 ・学生用のスペースを設ける場合は、勝手に中に入って利用できるようにするとゲームをする場所として利用する子供が増え、読書や学習したい子供が入れない、入れても邪魔で学習ができない、などが起こると思います。入場の際、図書カードを登録して誰が部屋にいるかわかる状態にするなど、騒ぐ・ゲームをするなどの利用目的では入れないよう、きちんとルームを管理してほしい 	<p>静かな環境の確保については、「(仮称)新西図書館基本計画案」の第4章に、新しい西図書館の整備に必要な視点として、静けさを求める場所と多少のにぎやかさが許容される場所のゾーニングを行うこと、場の目的を使う人にも伝える空間デザインの必要性などについて述べています。</p> <p>その他頂いたご意見については、今後検討を進める上での参考にさせていただきます。</p>
5	<p>神戸市新西図書館には若い世代と子供達及び高齢者との交流が出来るような交流スペースの確保と日本一の豊富な電子書籍の充実、日本一の絵本の充実、紙芝居などの良き昔話の書籍や読み聞かせ用書籍の充実を要望します。</p> <p>まず、ゆったりとした読書可能な空間で可能であればカフェと連携した静に楽しむ空間を確保して欲しい。子供が一日中遊べる場所、高齢者が勉強したり、遊んだりできる場所も考えて欲しい。</p> <p>加えて、電子書籍を日本一といわれる位に拡充充実させ、試聴できる個室を準備するなどの用室確保も検討して欲しい。</p> <p>また、幼児から高齢者まで集えるような暖かな空間と広々とした自然豊かな場所も考えて欲しい。</p> <p>さらには、図書や読書に拘らず、地域住民が地域芸能や祭り、スポーツなどに活用できる場所の設置も検討して欲しい。</p> <p>図書館としての機能充実のみならず、子供から大人までが集える、ほっこりと暖かい、眠ってしまうような場所。</p> <p>子供から大人まで軽いスポーツも出来る場所。高齢者が身体を動かせる場所。仕事帰りに息抜きに寄れる場所。このような多種多様な機能も備えた図書館を期待したい。</p>	<p>交流スペースの設置や電子書籍の導入、資料の充実、子供から大人まで集える場所を、といったご意見については、「(仮称)新西図書館基本計画案」の基本方針(1)(2)(3)において、検討していく考えを示しています。</p> <p>その他、地域芸能やスポーツなど多種多様な機能へのご意見については、区民センターなど他の公共施設も含めた、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。</p>

<p>6</p>	<p>私は、約30年西神中央に住み、約20年西神中央で働いたので、西区のキーワードである、「住む」「学ぶ」「働く」「憩う」を自身で実感してきました。西神中央駅前は、徒歩5分圏内に、ショッピングセンター・スーパー・百貨店・ホテル・特定機能病院・警察署等があります。また、バスターミナルも、明石・三木・小野など東播エリアまで充実しており、神戸の中心、三宮に地下鉄で30分ほどで行くことができる大変便利な場所です。そこに、新たな西区庁舎・西図書館・文化芸術ホールが建設されれば、行政・民間の利便施設が集約されることとなります。</p> <p>昨今、人口減少が問題になっていますが、これだけの都市機能が充実されれば、子育て世代を中心に転入者増加施策の一環になると考えます。これを機会に、神戸市が目出している「西の文化拠点」を発信として、「コンパクトタウン」の形成に繋がるのではないかと考えます。そうならば、民間の提供する生活利便施設やサービスが維持でき、行政のサービスも持続出来ると考えます。</p> <p>現在の西図書館は、確かに、狭くて、蔵書数も少ないため、「学ぶ」「憩う」は、不足していると思います。新西図書館においては、基本計画(案)に記載されているような、フリースペース・カフェコーナー・市民ギャラリー・ホワイエなどを設置し、学びながら少しのあそび心がある場所として、世代を超えて簡単に立ち寄れる施設を作って頂きたいと思います。</p>	<p>「(仮称)新西図書館基本計画案」において、新しい西図書館のコンセプトとしてお示した「新しい出会い、新しい発見がある、本の広場」は、学びながら憩える場所、世代を超えて簡単に立ち寄れる場所をイメージしております。その実現を目指して、引き続き検討してまいります。</p>
<p>7</p>	<p>滞在時間が長い新図書館を希望します。</p> <p>また、読書会やおはなし会する部屋の設置を期待します。どちらも読書人を育てるためには必要なスペースです。</p> <p>今後、文化的な空間で子どもから高齢者までが図書館で過ごすことは人間形成に多大な影響を与えると想像します。よろしくお願ひします。</p>	<p>滞在時間が長い図書館をというご意見については、「(仮称)新西図書館基本計画案」の第4章「新しい西図書館の整備に必要な視点」として、一定の規模と、居心地良く読書を楽しんでもらうための質の良い読書空間づくりが必要という考えを示しています。</p> <p>読書会についてはセミナー室を、また独立したお話の部屋についても、基本計画案の第6章「新しい図書館に求められる規模と機能」という項目で、必要なものとして取り上げています。</p> <p>コンセプトである「本の広場」は、子供から高齢者まで、さまざまな人が気楽に来館し、本に囲まれて過ごせる場所をイメージしています。</p>

8	<p>狭くて暗い西図書館が明るく広々としたものになることを楽しみにしています。ただプール帰りの子どもたちが減るのかなと心配しています。</p> <p>商業施設や駐車場、病院から離れることは残念です。</p> <p>おはなし会のお部屋や、読み聞かせの場所など、熟慮をお願いしたいです。</p>	<p>おはなし会の部屋や読み聞かせの場所については、それぞれ「独立したお話の部屋」「親子の読み聞かせコーナー」として、「(仮称)新西図書館基本計画案」の第6章「新しい図書館に求められる規模と機能」という項目で、必要なものとして取り上げています。</p>
9	<p>蔵書についての意見です。文庫本を増やしてほしいという意見がアンケートにありましたが、本当に必要でしょうか。文庫本の魅力は値段が安くだれでも買えることです。図書館に文庫本を増やせとの向きには、どうぞご自分でお買い求めください、といたいです。(ここでいう「文庫本」とは、ベストセラー本や流行の大衆小説などを想定しています。文庫化された古典や学芸文庫などはのぞく)それよりもむしろ、個人では所有することのむずかしい高額な本、大部の本、専門性の高い本などをとりそろえて市民の共有財産とするのが図書館にもとめられる役割ではないでしょうか。残念ながらいまの西図書館では本格的な学びや調べ物の役には立ちません。</p> <p>アンケート結果を見ても現在の利用者はライトユーザーが中心で、本格的に学びたいと考える人からは敬遠されている現状が見て取れます(アンケートでは利用者の滞在時間が短いのは「館が狭い」ためとしています)が、原因はそれだけではありません。来館目的別で「調べ物をするため」の割合が市内の図書館でもっとも低いことからみても、「専門的な書籍がなく、調べ物のために長時間滞在する人がいない」ことも一因であると考えられます。もちろん書籍だけでなく調べ物をできるスペースも必要です)。生涯をとおした「学びたい」という需要に大学図書館並みにこたえられる施設であってほしいと思います。一度社会に出た人が本格的に学ぶことのできる場所というのは本当に限られているのです。</p> <p>また、来館者アンケートでは需要の低かった「地元(西区)に関する資料」の充実もやはり重要です。私にも経験がありますが、たとえば地域の歴史を調べようと思ってもそれに関する資料(史料)を豊富に集積した場所がないので調べる手段が乏しいのです。これも西図書館がやらなければほかにやる人はいないでしょう。</p>	<p>生涯をとおした「学びたい」という需要に応えるべき、というご意見については、「(仮称)新西図書館基本計画案」の基本方針(1)に「市民の暮らしと、生涯にわたっての学びを支える図書館」として、目指すところを述べ、成人の「学び直し」を支援する資料の収集などの考え方を示しています。</p> <p>また、地元(西区)に関する資料の充実のご意見については、同じく基本方針(4)に「地域の記憶装置として収集・蓄積」の考え方を示しています。</p>

10	<p>子供が遊びに行ける図書館があったら嬉しいです。子供にはやはり本好きになって欲しいです。そうするのにまずは本が身近にある環境を作るのが大切なんではないかと思いました。そこで遊びに行けるような図書館があったらいいなと思い、投稿しました。図書館の中に室内遊具がある、本を読むスペースがソフトクッションで寝ながら本が読める、椅子がハンモック等、子供が自分から(本が好きではなくても)行きたいと思えるような図書館になってくれたら嬉しいです。</p>	<p>子供が遊びに行ける図書館、というご意見については、「(仮称)新西図書館基本計画案」の基本方針(2)に、子供たちが本の世界に遊び五感を育む場所として、多様な本を揃えイベントを準備するという考え方を示しています。</p> <p>その他、頂いたご意見については、今後検討を進める上での参考にさせていただきます。</p>
11	<p>シビックプライドガバナンスの考え方は都心地区とは違う住宅地としての立地からも重要な考え方だと思う。東播地域をも含めたエリアに居住する市民の知的好奇心や芸術への関心を満たす場であってほしい。また西区、東播地区の歴史的遺産に触れ、地元の魅力を地域住民に伝える場となればと思う。都心から近い中規模自治体の図書館のあり方を参考に、地域に根ざした図書館を目指すのが良いのではないかと思う。</p> <p>お願いしたいのは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術センターとの連携 <p>センターでの催しに関して深く掘り下げた情報を伝え、中央地区ではなくこの地域で開催される催しの意義を高めてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集える場所の提供 <p>本を真ん中にした人の交流を考えると、地域住民の自発的な活動が活発に行われることが重要。その活動を支援するために第一には場所が必要と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の文化的活動を引きだす仕掛け <p>読書意欲が強く、知的好奇心も高い西区住民は潜在的に自発的な地域活動を欲しているのではないかと思われる。図書館がその最初の一步を引きだす仕掛けづくりを担い、多様な地域活動につなげていただければと思う。</p>	<p>文化芸術センターとの連携、人が集える場所の提供、地域住民の文化的活動を引きだす仕掛けのご意見については、それぞれ「(仮称)新西図書館基本計画案」の基本方針の中で、部分的には触れ、考え方を示していますが、さらに検討を進めてまいります。</p>

12	<p>西図書館へはあまり行く機会がありませんが、神戸市民として神戸市立図書館が居心地のよい図書館であって欲しいと思い、コメントを送らせていただきます。</p> <p>西区の知り合いに聞いたことがあります、西区は大変広いので、図書館から遠い地域にお住まいの方にとっては、図書館へ行くことが大変だそうです。分館がいくつでもできると使いやすいと思います。移動図書館に頑張って走っていただくとか。移動図書館も訪問する場所が決まっていたら(幼い子の多い場所なのか高齢者が多い場所なのか)積み込む本を入れ替えることなく、便利だと思います。既にそのようにされているかもしれません。知らなくてすみません。</p> <p>子どもたちが遠慮なく使えるように、子どもの本の場所を一般のお客さまと少し離れた場所にしていただけたらよいのでは？と思います。</p> <p>おはなし会ができる小さな部屋も、大勢が集うことのできる大きなスペースもあれば、地域の方は嬉しいのではないのでしょうか？敷地を広く取れるのであれば、学生さんのための勉強のスペースも確保してあげられたらいいですね。</p> <p>幼い子から大学生、お勤め帰りのサラリーマン、主婦、おじいちゃんおばあちゃんまでが、集える図書館があると、その地域は活気づくと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>	<p>子供の本の場所を一般のコーナーと離す、というご意見についてですが、「(仮称)新西図書館基本計画案」の第4章に、新しい西図書館の整備に必要な視点として、静けさを求める場所と多少のにぎやかさが許容される場所のゾーニングを行うとしています。</p> <p>おはなし会ができる部屋や大勢が集う部屋、勉強のスペースについては、基本計画案の第6章「新しい図書館に求められる規模と機能」という項目で必要なものとして取り上げております。</p> <p>その他頂いたご意見については、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。</p>
13	<p>娘がデンマークに住んでいた関係で一地方の公立図書館へ行ったことがあるが、書籍の充実はもとより図書館の概念が静かに本を読むというより、地域の交流の場となっていて、ピアノが真ん中に置いてあり、ある時はコンサートをしたりお友達と pot-luck party をしたり、誕生会など楽しめる。</p> <p>そこまで行かなくても子どもたちがグループで与えられたテーマの探し物をしたり、学習の場が欲しい。よく「ここは学習の場ではないのでお控えください」など書いてあるのを見つけるが、そんなことを書いてある図書館は日本だけだと思う。もっと広いスペースに学習や議論を戦わす場所が必要だと思う。</p> <p>20年ほど前より洋書は少し増えたと思うが、帰国される時の寄贈品が多いように思える。せめて英語の絵本を揃えとか DVD や CD 電子書籍などこれからの時代に備えた機器がほしい。</p> <p>西神戸の中心となるなどの人にとっても平等に知識が得られる素晴らしい図書館を宜しく願いいたします。</p>	<p>地域の交流の場、子どもたちがグループで学習する場が欲しいというご意見については、「(仮称)新西図書館基本計画案」の基本方針(2)と、第6章「新しい図書館に求められる規模と機能」という項目で、必要なもの、という認識を示しています。</p> <p>洋書や洋書絵本については、今実証実験中の電子図書館サービスの今後の方向性と併せて検討してまいります。</p>

14	<p>私は司書として専門図書館で勤務し、主にレファレンス業務を担当しておりました。図書館の大きな役割の一つにレファレンスサービスがありますが、現在西図書館では実施されていません。「レファレンスは中央図書館でのみ実施しています」と回答されたことがあります。</p> <p>レファレンスは情報をピンポイントで提供するだけではなく、情報検索の過程で図書館員と利用者が共に書架に足を運ぶことで、図書の新たな世界が広がります。なかでも子どもの読書は情操教育に大きな影響を及ぼすことから、地域図書館での働きかけが重要と考えられています。西区には幼稚園、保育園から大学まで多くの教育施設があります。それらの施設との連携を考える際にも、レファレンス担当者が大きな役割を果たします。</p> <p>利用者アンケートにも、情報相談の希望があるにも関わらず、現在の概要書にレファレンスの記載がありません。西区が文化の薫り高い地域となるためには、気軽に相談できる専門性の高い図書館員が活躍する図書館が、中心的な役割を果たすのではないかと考えます。</p>	<p>レファレンスを西図書館で実施していないというご意見についてですが、西図書館においても、軽微なご質問にお答えするレファレンスは実施しています。ただし、専門書や事典類、郷土資料を多く所蔵し、各種データベースも利用できる中央図書館でしかお答えできないご質問があるため、地域図書館のバックアップとして、中央図書館が高度なレファレンスを行っています。</p> <p>新しい西図書館は、蔵書も増え、データベースの導入も検討していますので、お受けできるご質問の幅は広がると思います。</p> <p>その他頂いたご意見については、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。</p>
15	<p>公的な図書館は、神戸市の施設の中で、教育機関であり、すべての住民にとっての生涯学習の場であってほしいと思います。今回の基本方針に含まれる機能はそういう意味では、よいと思います。しかしながら、検討会の中で、「図書館を 10 年 20 年運営していくなかで、一過性のトレンドを設備の仕組みの中心に据えることによる陳腐化への危惧」というご意見がありました。その危惧に関連して質問します。</p> <p>質問 1、基本方針は、実際に建設される図書館機能にすべて反映されるものなのですか？</p> <p>質問 2 建設後、将来にわたり、基本方針が確保されているということを、担保するものは何ですか？担保するものがなければ、肝心の内容が変わってしまう可能性があると思います。そのためには、同時に文化ホールも併設されることから、文化や教育全般に関する基本理念を定めた条例を定め、住民団体の代表や公募住民が参加した審議会等を設立すべきではあると考えます。</p> <p>質問 3 運営は、誰がするのですか？神戸市の指定管理による業者さんになるのですか？</p> <p>要望 パートやアルバイトではなく、地域の情報や歴史に詳しいしっかりした司書の方を配置し、その司書の方が活躍できる(能力を発揮できる)質の高い図書館を目指して欲しい。</p>	<p>「図書館を 10 年 20 年運営していくなかで、一過性のトレンドを設備の仕組みの中心に据えることによる陳腐化への危惧」という発言は、映像音響サービスについてのみの意見です。AV サービスを提供する場合に、かつて中央図書館ではビデオテープやレーザーディスクを購入し、機器を準備しましたが、今は DVD が主流となり、ビデオに対応する機器は最小限の台数で提供しています。そのような状態への危惧という意味です。</p> <p>基本方針を含む基本計画の扱いについては、「(仮称)新西図書館基本計画案」の最後「今後に向けて」の項目において、考え方を示しています。</p> <p>図書館学の分野では「図書館は成長する有機体である」という言葉があります。この「(仮称)新西図書館基本計画案」の基本方針は、図書館が目指すべき目標を広く含むもので、この先大きくは変わることは無いように考えたものですが、10 年、20 年たって、西区、神戸市、日本の社会が大きく変化した際には、図書館も基本方針をベースにしながらも、新たに必要となる目標を持つこととなります。</p> <p>運営につきましては、今後も指定管理者が運営いたします。その他頂いたご意見については、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。</p>

<p>16</p>	<p>1. 検討プロセスについて 来館者や地域のアンケートを踏まえ、有識者による3回の検討会を経て基本方針案を策定したプロセスはわかりましたが、区民の生の声は聞かれたのでしょうか。</p> <p>神戸市では、「協働と参画 三条例」の中で「政策案を形成する過程において市民への説明を行う」とあります。基本構想案ができてパブリックコメントを求めるのが「参画」ではないと思います。基本構想を定めるまでの段階で、区民への説明やタウンミーティングによる、直接的な意見交換の場を設けるべきではないでしょうか。一方的なアンケートだけでは、住民はサービスの「受け手」(受益者)であり、要望だけを言います。「担い手」にはなりません。</p> <p>基本方針の「(2)青少年や子育て世代が利用しやすい図書館」で、実際に青少年や子育て世代がどんな図書館を求めているのか、検討委員の意見やアンケートだけでなく、実際にその年代の方の意見を聞くことが必要ではないでしょうか。また、「(3)集い、共に学び、地域をつなぐ図書館」に関しては、基本計画の策定段階から区民が参画することにより、「担い手」の意識を持つことで、行政と市民が一緒に支える地域の図書館になるのではないのでしょうか。なお、そのためには、管理運営が指定管理で良いのかも議論になってくることと思います。</p> <p>2. 「機能」について 「誰もが学習のために速やかに資料にアクセスできる環境」の中には、「豊富な蔵書」というハード面だけでなく、「リファレンス機能」というソフトが欠かせません。これを明記すべきではないでしょうか。</p> <p>3. 蔵書について 「公共の図書館」として、神戸市の行政資料(報告書等)を全て設置しておく必要があると思います。</p>	<p>区民の生の声の聞き方に関するご意見については、利用者や各地域団体や大学へのアンケートを行いました。また、アンケート結果や検討会の開始のお知らせについては、ご質問やご意見を伺えるよう「区民まちづくり会議」に報告させていただきました。</p> <p>また、この「(仮称)新西図書館基本計画案」は、新しい図書館の基本的な方向性や機能を示すものであり、事業の進捗に伴い、より具体的なサービス計画が必要と考えております。</p> <p>今後、市民の意見を聴取しながら、開館に向けて必要な計画を作っていきますが、その際には、西区役所の協力を得ながら、区民の声を聞く方法を検討します。</p> <p>また、図書館の運営につきましては、今後も指定管理者が運営いたします。</p> <p>その他頂いたご意見については、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。</p>
-----------	---	--

17	<p>新図書館設立あたり、基本計画をみると、出来あがるのが待ち遠しい感じを受けます。障害者のネットワークとして(障害者目線)でいくつかお願いをさせていただきます。</p> <p>1 身体障害の立場より 要望にも上がっていますが(車椅子も通れる程度)のゆとりのある空間をお願いします。またエレベーターなど車椅子やベビーカーが数台乗れるものが希望です。</p> <p>2 視覚障害の立場より 点字の案内をお願いします。点字書物があったり、視覚障害者用の読み上げソフト、点字化ソフト、拡大ソフトなどを導入するなど取り組んでいただきたい。</p> <p>3 聴覚障害の立場より 筆談ボードの設置は元より、視覚的に分かりやすく、案内をはじめ必要な情報の掲示をお願いします。</p> <p>4 知的障害 発達障害の立場より まだまだ差別や偏見が強くあります。障害がゆえ、声が出てしまったり、一見普通に見えて拘りが強く出たり、コミュニケーションが取れにくかったりします。配慮がいただけるようなポスターの掲示や場所の確保等検討いただきたいです。</p> <p>5 トイレについて 多機能トイレとありますが、1か所ではだめで数か所準備をお願いします。(待たせてしまう事が多々あります。)オストメイト用の洗い場、おむつ交換用ベッド(大人でも可能な)なども必要です。片方に麻痺がある方、左と右では必要な手摺の場所が違います。身障トイレでも手摺が右麻痺用、左麻痺用とあれば便利です。</p> <p>記載したのは一部です。障害も色々あります。出来れば障害当事者より話を伺う機会を持っていただければと思います。ユニバーサルな視点があれば誰にでも使いやすい図書館になると思います。誰もが集い、つながる図書館をぜひ創って頂きたいです。よろしく願いいたします。</p>	<p>当事者の目線で頂くご意見については、参考になることが非常に多くあります。「(仮称)新西図書館基本計画案」の基本方針(3)で、「ユニバーサルデザインの考え方にもとづき」としてありますが、具体的な留意点等については、専門家や当事者の方に、今後ヒアリングをさせていただきます。</p> <p>また、この点につきまして、基本計画の基本方針(3)に、「障害のある方や専門家のご意見を伺いながら」という文言を追加する形で、ご意見を反映させていただきます。</p>
18	<p>小学2年生の母です。(仮称)新西図書館基本計画(案)を拝読しました。</p> <p>借りた本を自動で記録できる仕組みがほしいです。他県の図書館では、銀行通帳のような冊子に自動で読んだ本を記録できる機能をもっているところもあるようです。読んだ本の記録を見ることが、子供がどんなことに興味を持ち、履歴を見れば、どう変化してきたのかを知ることができ、今後、どんな本をすすめればよいのか目安に出来るのではないかと思います。また、読んだ本を目で見て確認できれば、子供は達成感を覚え、より読書意欲がわくのではないかと。どうぞご検討ください。</p>	<p>今回の「(仮称)新西図書館基本計画案」は、新しい図書館の基本的な方向性や機能を示すもので、ご意見にある「読書通帳」については、今後、より具体的なサービス計画を検討する際の参考にさせていただきます。</p>
19	<p>図書館だけでなく、自習室は広めに欲しいです。</p>	<p>学習席は「(仮称)新西図書館基本計画案」の第6章「新しい図書館に求められる規模と機能」という項目で取り上げていますが、広さや席数については今後の検討になります。</p>

20	<p>昨今、気候変動や社会情勢に伴い、子供たちの居場所がなくなっていると感じます。夏は暑く、開放プールも中止。共働きにて子どもをどこかにつれていってあげることもできず、家に引きこもり、ゲームやメディア漬けになっている子どもがたくさんいるかと思えます。このままでは子どもたちの、ひいてはこの国の未来が心配です。これからを担う子どもたちが、もっと自由に活動し、発想力や協調性、思考力をみにつけるような居場所があればいいなと感じます。具体的な提案ではないのですが、ぜひ子供たちの居場所となるような、子どもたちが行きたいと思うような図書館を作って頂きたいと願います。この高齢化した地域にも再び活気が取り戻せる起爆剤になるのではないかと期待しています。</p> <p>東京都の公立中学校で初の民間人校長となった藤原和博さんという方をご存じでしょうか。たくさん執筆されている書籍の中の「つなげる力」という本を一読してみてください。中学校で地域の人々を巻き込んだ改革を起こし、子どもたちと地域の方の交流、居場所作り、学習能力の向上などを行った課程が綴られています。そして、ほとんどの中学校において図書委員しか利用者がおらず死蔵となってしまうと言われている図書室を改革し、子どもたちの居場所を作った経緯も書かれていました。寝ころんで読めるスペースなんかも作ったようです。図書室の話ですので図書館整備とは違いがあるかともありますが参考になれば幸いです。</p> <p>皆が集える良い図書館になることを期待しています☆細かいとこの具体的な要望、少しでも記載します。※絵本コーナーが現在は出版社別なので非常に探しにくい。本やさんみたいに年齢別おすすめ、とか、見やすくしてほしい。※英語絵本をふやしてほしい。※小さい子連れである程度声をだしても気にせず過ごせるスペースが欲しい。</p>	<p>子供たちの居場所となるような、子どもたちが行きたいと思うような図書館を、というご意見に「については、「(仮称)新西図書館基本計画案」の基本方針(2)に、本の世界に遊び知識を得、五感を育む場所として整備したい考えを示しています。</p> <p>また、ある程度声をだしても気にせず過ごせるスペースとしては、「(仮称)新西図書館基本計画案」の第6章「新しい図書館に求められる規模と機能」という項目で、「親子の読み聞かせコーナー」を、必要なものとして取り上げています。</p> <p>その他頂いたご意見については、今後検討を進める上での参考にさせていただきます。</p>
21	<p>実現してほしいこと</p> <p>新しい図書館には、絵本の読み聞かせやお話をきかせるところは子供の集中力を養うためにも、後ろにざわざわした関係ない人の気配を遮断した独立のスペースを確保してほしいです。</p>	<p>おはなし会の部屋や読み聞かせの場所については、「(仮称)新西図書館基本計画案」の第6章「新しい図書館に求められる規模と機能」という項目で、「独立したお話の部屋」「親子の読み聞かせコーナー」として取り上げています。</p>

22	<p>神戸市図書館を利用するものとして、より快適に、より利用し易い図書館となることを切望しますので、意見を述べさせていただきます。</p> <p>私は一昨年定年退職し、蔵書検索システムで予約した本の受取りを三宮図書館から西図書館に変更しました。職場が東灘であったため、乗り換えの三宮駅にある三宮図書館が夜の9時まで開館しているのが便利だったからです。退職後は比較的時間が自由に使えるようになったので、地元の西図書館を主に利用しています。</p> <p>私のように図書館が予約本の受取、という利用がメインならば、いまほとんど非常勤雇用でまわっている受付周りを充実させていただくことで事足りるのですが、図書館はもっと市民の知恵の泉としての役割を果たさなくてはいけないと思います。</p> <p>基本計画(案)のなかで、アンケートの結果が紹介されていますが、その一つ一つはもっともなものであり、計画に反映させるべきですがすべてを実現するのは不可能です。</p> <p>ここでも重要なことは、進行する少子超高齢化と人口減少にどう対応していくか、だと思います。西図書館が60代の利用が多いのは、定年退職者が多いことを示しています。一方で、まだまだマンション建設や新築戸建がすすんでおり、子育て世代も一定数存在します。高齢者、働き盛り、未成年の就学児童などそれぞれの世代が一定のボリュームを持って存在しているのが西区と言えるでしょう。</p> <p>基本計画(案)第5章、第6章で展開されているコンセプトや規模と機能に照らし、私が思うのは第一に図書館として蔵書を充実させることと、第二に本を通じてさまざまなコミュニケーションが図られることが大切だと思っています。そのために、蔵書スペースと閲覧スペースはフロアを分けて管理すべきだと思います。(東灘図書館、明石市民図書館を参考に)</p> <p>また、住民だけでなく工業団地を始め一定数の労働者が働いている街として、開館時間を延長するとか工夫をして通勤者にも利用しやすい図書館にしてもらいたい。</p> <p>現状はとにかく手狭なため、本が少ない、手続きに時間がかかる、座るところがない等の意見が多数出されていると思いますが、移転候補地は広いところですので、そこはゆったりとした設計を望みます。</p> <p>最後に要望ですが、西区のセンターの図書館としての西図書館だけでなく、もっと地域に密着した小規模図書館の充実を真剣に検討してもらいたい。健康長寿日本一の山梨県は人口あたりの図書館数が日本一です。蔵書は少なくとも気軽に利用できる図書館が、西神南にも、学園都市にも、玉津・神出・岩岡にもあれば今の図書館ネットワークがもっと活かされるのではないのでしょうか。ぜひ保健福祉局とも相談して検討していただきたいと思います。</p>	<p>蔵書スペースと閲覧スペースはフロアを分けて管理すべき、というご意見については、今後、民間業者からの提案がある中で、検討を深めてまいります。</p> <p>開館時間の延長につきましては今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>また、地域に密着した小規模図書館の充実のご意見につきましては、神戸市に対する意見として、参考にさせていただきます。</p>
----	---	---

【若者目線での図書館づくり】

アンケート結果を見たが、60代以上で約55%を占めていました。また、自由意見も高齢者の言葉がほとんど占めており、大変驚きました。アンケート結果を重視すると、高齢者の方向けの図書館が完成してしまうのではないのでしょうか。もちろん高齢者にも快適に利用できる図書館であることは重要であります。やはり今後の未来を担う若者(特に学生、子育ての方)の意見をもっと聞くべきだと感じました。西区にもっと若い方が移転してもらえる一つの施設となることに重点を置いてほしいです。(高校や大学にもアンケートを取ったと書いてましたが、ただ配っただけではないのでしょうか。もっと協力を要請すべきかと感じました)

【デザイン性のある図書館で若者を呼び込む】

議事録にも記載ありましたが、文化ホールと一体なのは良い考えだと思いますし、駅までの動線に両よけがあるのも図書館を使いやすくなる要因だと思うので実現してほしいです。ただ、気になるのはマンションも作るため、例えば駅からみてマンションの裏側に図書館・文化ホールが作られるのだけは避けてほしいです。図書館・文化ホールが西区のシンボルとなるように、駅から見える位置に西区の「知」の拠点を構えることを望みます。(マンションの裏にあると、明石の図書館のように商業施設ビルの一角に入って目立たない)

23 図書館のデザインは平凡なものではなく、三宮で新しく検討しているように「個性がある一度は行ってみたいと思われるデザイン」にして欲しいです。(いまどきの言い方をするとインスタ映えするようなもの)デザイン性があるとSNSでアップしてもらえるし、ニュースや新聞などでも紹介される可能性が上がります。特にSNSでアップされると、多くの若者が図書館存在を知ることになり足を運ぶ人が増える可能性が高くなります。若者を「本」や「交流会」だけで呼び込むのは難しいと思います。コンセプトの一つに「借りなくても集まれる場所」とあるので、「デザイン性」といった所で若者がつい足を運びたくなる建物にするのはいかがでしょうか。(新三宮図書館がやっているように。今の西区や三宮図書館のような箱物図書館には魅力がないです)「来たついで」に本を読む・借りるという様に、本という図書館の主役を脇役にするなど、まずは若者に来てもらえる場所に選ばれるような大胆な施策に期待します。

【同じ人だけが利用することに対して】

同じメンバーがずっと集まり動かないとありますが、まったく新しく施設を作れるのだから、仕組み作ればいいのではないのでしょうか。一案ですが、

- ・自習(フリー)スペースには専用のカード(登録制)のを挿さなければ使用してはならない。
- ・カードが挿さっていない場所に人が座っていたら退席してもらう。ORカードを挿してもらう。
- ・カードを挿している時間を計測できるようにする。
- ・「満席になった場合」には、1日累積90分以上使用している方から退席いただく。
- ・カードを忘れた場合でも、臨時カードを借りれるようにすることで、忘れたから使えないといった不便さをなくす。
- ・満席時には次に空く時間を入り口やネットなどで見れるようにしておく。
- ・新図書館は駅前なので、空くまでの時間を他で潰すことが可能となる。逆に言うと、この様な仕組みづくりをしてくれないので、市民が平等にサービスを受取れないのではないのでしょうか。受験勉強で8時間勉強するために居座る高校生や、時間つぶしのために居座る高齢者のためだけに図書館があるわけではありません。誰にでもサービスが行き届く仕組みを本気で作ってほしいです。(ただ若い人には来てほしいので22歳以下は2時間まで使用可能にするなど若者と大人で差をつける工夫などがあれば良いです)

基本計画案の作成にあたっては、西区役所の協力を得ながら大学生へのアンケートを実施しましたが、若い世代の意見をもっと聞くべき、というご意見について、今後、事業進捗にともなう、さらに市民の皆様からご意見を募集する際に、学生や子育て世代の方々の意見を集める方法について、検討してまいります。

デザイン性や若者を呼ぶ工夫に関する意見、座席の管理方法に関するご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。

大和市の「シリウス」は図書館機能だけではなく、生涯学習施設、子育て支援施設の役割も担う図書館で、今回の基本計画案をはるかに超える施設ですが、神戸市から視察にも行き、参考にできるところは取り入れたいと考えております。ちなみに、西図書館の建設予定地には、図書館のほか、住宅やホールも建設されますので、図書館用地はご意見よりも狭くなります。

その他頂いたご意見については、今後検討を進める上での参考にさせていただきます。

23 続 き	<p>【多施設の成功実績を取り入れてほしい(有料スペース、カフェ併設等)】</p> <p>あと、2016年11月にオープンした大和市の「シリウス」は土地の広さも12,000㎡と同じであり、大変参考になるのではないのでしょうか。800席も座席があれば、上記で述べたような仕組みもなくとも問題ないのではないのでしょうか。有料スペースの考え方は是非取り入れてほしい。本気で学びたい学生や勤労者は喜んで使用するでしょう。するが有料とするなどして、夜遅くまで使いたい学生や仕事で夜まで働いている勤労者にも有効活用できる場所となってほしいです。</p> <p>今の若者が大人になり、新しく住む場所を探しているときに西区と明石を比較し「西区にはあの図書館があるから便利だし、子供の教育にも良い！だから西区にしよう！」といった図書館になることを望みます。冒頭でも記載していますが、大多数の声が高齢者となっていますが「高齢者のための図書館」にならないようお願いしたいです。今までを作り上げてきたのは高齢者の方々であるが、これから作っていくのは若者であります。ただでさえ、人口が減少していく未来なので、若者に選ばれる街の要因の一つとなるような図書館にしてください。図書館・文化ホールの施設により、選ばれる街だけでなく、他所からも足を運ばれる街になることを願っています。</p>	
24	<p>いつも、西図書館を利用させていただきありがとうございます。本との出会いを楽しみにして通っております。</p> <p>そして、本好きの子供たちとの出会いも楽しみにして、館内でのおはなし会にも参加させてもらっています。</p> <p>そこで西図書館には是非、子供のおはなし会の部屋を児童書のフロアーに設けていただくことを願います。</p>	<p>今の西図書館の活動を支えてくださり、ありがとうございます。おはなし会の部屋については、「(仮称)新西図書館基本計画案」の第6章「新しい図書館に求められる規模と機能」という項目で、「独立したお話の部屋」として必要なものとして取り上げています。</p>